

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

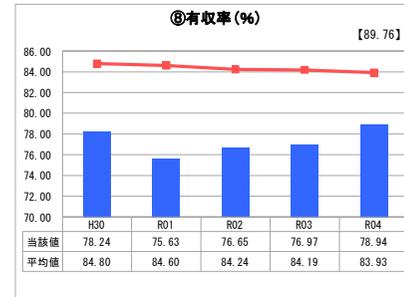
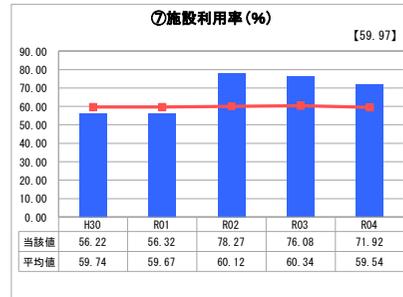
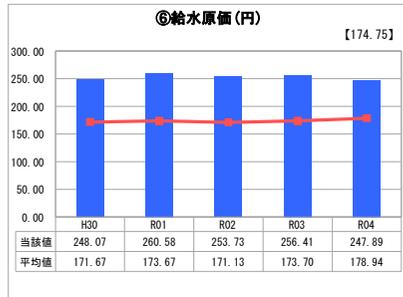
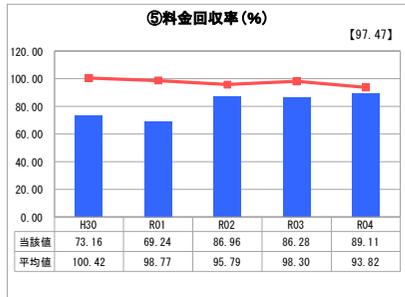
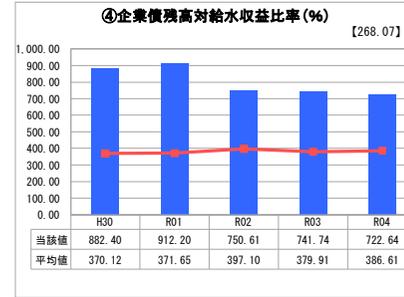
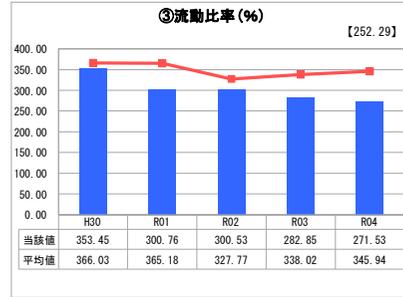
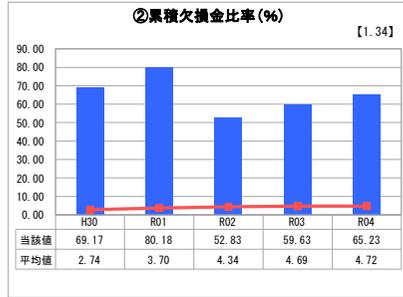
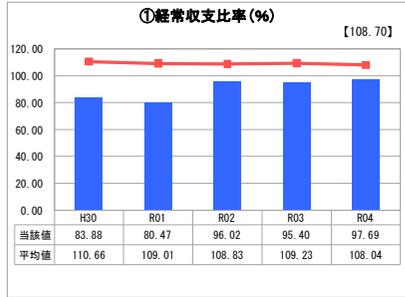
岩手県 久慈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	57.78	95.26	4,170	

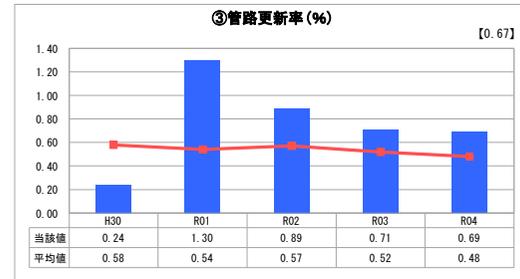
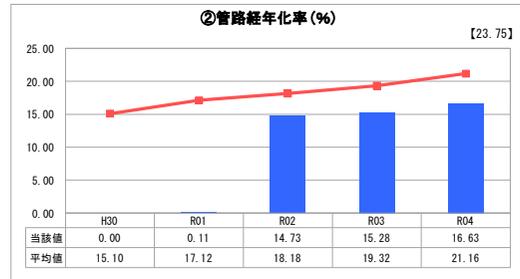
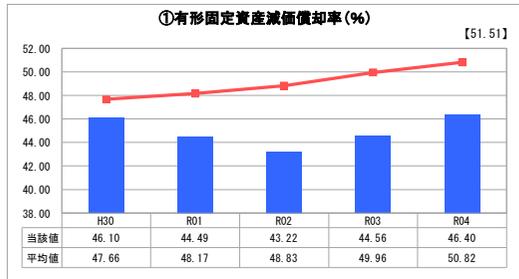
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,645	623.50	52.36
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,830	111.56	276.35

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、令和元年に実施した料金改定により改善傾向ですが、電気料金や物価高騰等の影響により、100%を下回っている状況です。
- ②累積欠損比率は、東日本大震災や台風災害復旧等の影響による損失を長期間にわたり累積している状況であり、抜本的な経営改善が必要です。
- ③流動比率は、類似団体と比較して低いです。支払い能力に支障がない範囲です。ただし、近年は減少傾向にあり情勢を見据えた対応が必要です。
- ④企業債残高対給水収益比率は、類似団体と比較して大幅に高く、施設の更新費用を借入れに頼っている状況です。
- ⑤料金回収率は、100%を下回っている状況が継続しており、⑥給水原価を下げる必要があります。
- ⑥給水原価は、類似団体と比較して高い水準で推移しており、減価償却費が費用の約半分を占めていることから、給水の必要量に見合った施設への転換等の取り組みが必要です。
- ⑦施設利用率は、人口減少等により有収水量が減少傾向であるにも関わらず、類似団体と比較して高い水準で推移しています。
- ⑧有収率は、類似団体と比較して低い傾向にあることから、漏水の改善が必要です。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、アセットマネジメント計画に沿った管路更新を行っているため、類似団体と比較して低くなっています。将来的には、集中的に整備した管路が一斉に耐用年数を経過することにより上昇傾向で推移していきます。
- ②管路経年化率は、類似団体と比較して低くなっています。物価高騰等の影響により、更新工事が計画より遅れています。水の供給には支障がない範囲です。
- ③管路更新率は、類似団体と比較して高くなっています。将来訪れる更新時期に備え、継続して管路更新を行う必要があります。

### 全体総括

- 引き続き漏水対策を実施し、有収率を上げる必要があります。
- 物価高騰等、現状を反映したアセットマネジメント計画の見直しを行い、施設の統廃合及び効果的な管路更新に向けて取り組めます。また、料金体系の見直しを含めた経営戦略の見直しを行い、経営改善を図ります。